

みんなの町議会



目次

- 12月定例会の経過・年頭のあいさつ… 2～3
- 常任委員会の焦点 …………… 4～5
- 一般質問に7名登壇 …………… 6～12
- 議員研修報告 …………… 13
- 請願・陳情・意見書送付 …………… 14
- あれ なんと なったべが！ …………… 15
- 楽しんでます・がんばってます …………… 16

No.125

2016年1月1日

新消防庁舎より森山を望む

2016

あけまして おめでとうございます



議会の経過

12月定例会は12月7日から11日まで5日間の日程で開かれた。

一般質問には7名が登壇。TPPの批准反対運動・地域おこし協力隊の増員・子供の貧困いじめ・森林資源の活用・朝市振興策・少子化対策・し尿処理施設の広域化などを質問した。

提出議案は平成27年度一般会計・特別会計補正予算案、個人番号に関する条例の制定案、盆城庵と清流の森指定管理者指定案など12件。

渡邊町長は行政報告で「まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定は、しごとづくり・移住定住対策・少子化対策の基本目標を定め推進したい」と述べた。

各常任委員会の審査を行い、最終日は各常任委員長報告のあと、全議案を全会一致で可決した。請願1件・陳情3件を採択、継続陳情1件を不採択。人事案件1件に同意し閉会した。

年頭のあいさつ

大いなる飛躍の年に

議長 小林 正志



あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年は合併60周年の記念すべき年で、本町初のNHKのど自慢大会が開催されるなど「節目」の年でありました。今年の干支は「申」。十二支の第9番目で動物では「猿」。昔の「申の刻」は午後4時を中心とする約2時間を指したそうです。

「時」は永遠に刻み続けますが、地球はどうでしょうか。緑の森が減少し、大気汚染は深刻となり、海水も微細な化学物質が漂い、食物連鎖で魚貝類を食す人体へと蓄積される怖い時代になってきました。科学の発達は人間が成し遂げた事ではあります。これからは、この科学の力で私たちが安全・安心して暮らしていくための「時」が刻まれていくことを願ってやみません。

議会改革では町民に開かれた議会を目指して、映像配信システムを導入し、全県に先駆けてタブレット端末を活用してのペーパーレス化も28年度から実施予定であります。「改革は痛みが伴う」と言われますが、議員定数削減もその一環で、今年3月の改選時から定数が16人から14人となります。次代を担う多くの若い人達により、議会も町も大いに活性化されることを期待しております。

2016年が町民各位にとりまして、ご健勝で多幸あふるる年となりますようご祈念申し上げ、年頭のあいさつと致します。



TPP交渉関連 議案に対する質 疑応答

委員会提出議案第19号「TPP交渉に関する意見書について」

提案理由

TPP大筋合意の詳細と協定本文を速やかに開示し、国会・国民の議論を保証することと、国会決議に違反する合意は撤回し、協定への調印・批准は行わないことを求めるため、意見書を提出する。



産業建設常任委員長による提案理由の説明後、館岡議員より質疑があり伊藤委員長が答弁した。館岡議員はこの意見書案に反対したが賛成者が無く（*会議規則第83条）、議長長の宣告により討論省略の上、全会一致で可決された。

館岡議員

農業従事者の気持ちはわかるが、自国の経済を守るため必要であり、議案19号には反対である。

伊藤委員長

貿易の促進では理解できるが、地域基幹産業である農業を考えると、影響が多岐である。委員会では請願を採択し、意見書を提出した。

*会議規則第83条

議長は、問題について異議の有無を会議にかかることができる。異議が無いと認めるときは、議長は、可決の旨を宣告する。ただし、議長長の宣告に対して、出席議員2人以上から異議があるときは、議長は、起立の方法で表決を取らなければならない。

第4回 臨時会 9月30日

提出議案

① 議案第85号平成27年五城目町一般会計補正予算（第3号）
秋田朝日放送中継電波塔の土地の賃貸借権消滅補償についてを審議し全会一致で可決した。

第5回 臨時会 10月26日

提出議案

① 議案第86号不動産の譲渡について町の普通財産である旧内川児童館を「交流機能を有したミニショップ」として活用するため無償で譲渡する。
② 議案第87号平成27年五城目町一般会計補正予算（第4号）
「交流機能を有したミニショップ」を創設するため歳入歳出予算に800万円を追加する（800万円は県からの補助金）
以上を審議し全会一致で可決した。

議員全員協議会

日程：9月30日

協議案件

● 秋田朝日放送五城目テレビ中継所電波塔撤去に伴う土地所有者への補償について

日程：10月19日

協議案件

● 五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
● お互いさまスーパー創設事業について

日程：11月16日

協議案件

● 五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
● タブレット端末導入について
その他
薬師山の鉄塔撤去について



全員協議会

補正の主なもの

補正予算は1億5,893万円
で累計60億7,815万円。

主なものは

* 道路除雪委託費

4,000万円

* 街灯施設費

200万円

* し尿処理費

129万円

* 子ども・子育て支援費

260万円

監査委員選任

再任 本間 信義氏
(66歳)

五城目町馬場目

字帝釈寺10番地



(齋藤 晋)

教育民生 常任委員会

委員会の焦点

進展しない し尿処理施設建設

これまでの経過

平成26年11月に、し尿の直接放流方式を実施している神奈川県葉山町を議員と職員で視察した。27年2月に県と直接放流方式の協議に必要なデータを収集するための、基礎調査業務を委託したがその後まったく進展していない。

担当課では27年度の早い段階で基本設計を発注し、建設箇所などを決定し、29年度の供用開始を目指すとしていた。

9月議会の一般質問への町長答弁は「厳しい財政状況の中で、より有利な条件のもとで事業に着手したい。方向が定まるまで基本設計の委託を先延ばしする。希望も含め供用開始は平成30年度としたい」に変わった。

今回の行政報告では「県に対して国より、し尿処理施設等の広域圏でのモデル的な事業の提案を要請されている。これによって新たな補助制度が創設されるものと考えている。県は2040年まで県内を6ブロックに分割し、各ブロックの中核施設にし尿を集

総務 常任委員会

委員会の焦点

県内初タブレット導入

一般会計補正予算に、来年度6月から本格導入されるタブレット端末の環境整備のための委託料が計上された。ルーターや約10箇所のアクセスポイントを設置強化する。

タブレット端末の導入は、第5次行政改革推進プログラム改革メニューの事務改善の推進と事務事業見直しで、庁舎内のペーパーレスを推進することとしている。平成28年度から例規集の簿冊編集を廃止し、タブレット端末の利用によるペーパーレスの推進を図る計画となっている。



導入に向けた協議



報道記事

タブレットを活用した議会は平成27年4月の時点で全国の自治体である。効果として経費削減や、どこでも「見る・読む・受け取る」ことが可能になり、情報の共有や情報伝達の即時化が可能となる。

庁舎内における無線LANの環境は、ある程度整備されている。使用範囲はアクセスポイントの強化が必要な箇所もあり、40台の端末がアクセスした際に安定した通信環境が保てないことや、セキュリティの問題が想定されることから回線整備の必要がある。

(佐藤 慶彦)



老朽化の著しいクリーンセンター

約して処理するものとなっており、この配置等を受けてこれまでの計画と合わせて、秋田市への搬入も含めた広域的な検討が必要となる」とあり、常任委員会では質問が多く出た。

委員 し尿処理施設建設に対する考えを聞きたい。

当局 基本的には、町単独で早急に建設したい考えは変わっていない。現在、生放流もしくは希釈処理なのかを県、国と協議している。今後新たな補助制度が創設される可能性もあり期待している。町単独での建設とブロックでの協議を平行して進める方向でいる。

委員 湖水苑に加入して八郎潟町、井川町と広域で進める考えはないのか。

当局 協議は進めるが、湖水苑を改修して直ちに五城目町を受け入れるかは未定である。

友愛館の冬囲い

今回友愛館の冬囲い工事費114万7,000円が補正計上された。工事の完成は1月下旬とのことだが、例年であれば今頃はそうとうの積雪があるはず。年度当初から友愛館の冬季休館が決まっていたのであれば当初予算に計上、遅くとも9月には補正すべきではなかったかなどの意見が出た。



冬季休館の友愛館

(石井 光雅)

委員会の焦点

新除雪管理システムが今冬から実施



G P S 管理システムに期待

今冬の除雪管理システムは、従来のタスクメーターからGPSによる管理システムへ変更になった。

これまでの管理システムでは、実際の除雪車の稼働状況把握が困難であり、除雪費の計算においては手入力により計算するため、一日当たりの総除雪額の算出に時間がかかりすぎていた。

GPSデータ管理方式では、システムにより運行軌跡を画面化するため、除雪車の稼働状況の把握ができ、自社の稼働実績が明確であるため、請求書の作成も容易になる。

今後、町民の納得がいく除雪体制に期待がかかる。

経営転換協力金 申し込みは18件

「担い手・農地総合対策推進事業」は、農地中間管理機構を通して担い手に農地を集積させるために、農地の出し手に経営転換協力金が支払われる事業である。

経営転換協力金の単価は、貸付け面積0・5ha以下が30万円、0・5ha超2ha以下が50万円、2ha超が70万円となっている。

今年度は、18戸の申し込みがあり、中間管理機構の認定を受けてから、28年3月に協力が金が支払われる。



担い手に農地の集積を

(佐々木仁茂)

一般質問

町民センター前の車道閉鎖は「冷たい行政」だ

教育長 試験的に解除する



石川 交三
(日本共産党)



町民センター前道路

石川 閉鎖理由はなにか。公の施設について定めている自治法第244条に抵触しないか。お年寄りや体の不自由な人にとっては冷たい行政だ。

教育長 施設内通路への駐車車両が増え、高齢者や児童・生徒などの歩行、送迎車両の乗り降り時に駐車車両の間を通るなど、事故が危惧されたことから安全確保のために一般車両進入禁止と駐車規制を町として行なった。当面の間、試験的に解除する。駐車場も整備されており、障害者の方は進入を許可しており法には抵触しない。

石川 条例で施設の管理運営については運営協議会に諮るとしているが協議したか。

教育長 協議していない。

石川 なぜ最初の措置として一方通行やプール側への進入禁止をしなかったか。その上でなお安全確保に懸念がある場合に、はじめて全面禁止とするのが取るべき手段だ。

教育長 周知や説明不足については配慮が足りなかった。

石川 五一中ソフトテニス部の広域体育館利用を一時制限したのはなぜか。

教育長 内規により、テニスラケットで床にキズが付く懸念から軟式・硬式テニスの一般利用は原則許可しないとした。配慮を欠いていたもので内規を見直し、利用許可した。

石川 関係者はキズが付くなどはないかと憤っている。不安や不快な思いをかけたのはいかなるものか。

安保関連法の公布を受けての町長見解は

石川 法成立後の世論調査では「国会審議が尽くされたとは思わない」が79%、「十分に説明しているとは思わない」が81・6%だ。国民の動向を無視して物事を決めるのは民主主義とはいえない。

違憲であり立憲主義にも、もてるものではないか。

町長 説明不足という民意は否めないものがある。国論が収れんしないまま採決されたと思われるが、その評価は終局的には、主権を有する国民の政治的批判に委ねられるものとする。

TPPの批准反対運動を

石川 交渉が大筋合意した。農業の保護・聖域確保を求めた衆参両院の決議に反するものではないか。批准反対運動に取り組むべきではないか。

町長 残念に思っている。参加12カ国が協定文書に署名後、全参加国が2年以内に批准できない場合、国内総生産合計が85%以上を占める6カ国以

上の批准で発効できる。参加国のGDPでは日米の一方が欠けると発効できない。
基幹産業である農業への影響は図りしれないものがあり、異議を唱えていく。

マイナンバー制度への疑問

石川 住民も自治体も望んだものではない制度が始まった。カード作成しなくても罰則もない。各種行政手続きもこれまで同様だ。詐欺事件もありどう周知するか。

町長 日に数千件の問い合わせがある。相談窓口を設置し、申請要領や詐欺防止のリーフレットを作成・配布する。



役場相談窓口

その他に
○福祉灯油の実施を
○子どもの貧困について
質問しました。

地域おこし協力隊の増員を

一般質問

町長 来年度新たに採用する



佐藤 慶彦
(会派に所属しない議員)

佐藤 地域おこし協力隊の増員が必要だ。特別交付税措置される期間は3年間であり、現在は2年目3人、1年目1人体制である。

3年×3名以上の体制を目指して、継続して募集をし、良い人材はどんどん採用していくべきだ。

町長 来年度新たに数名採用し、現在の協力隊と1年間ともに活動し事業を引き継いで新たな活動にも取り組んで欲しい。
佐藤 地域活性化支援センターの運営費や将来的なことも考え、視察受入れの有料化が必要だ。

町長 県内では美郷町が行政視察を有料化した例もあり、調査したい。

佐藤 地域活性化支援センターの指定管理者制度の導入を。

町長 施設の設定目的を最大限發揮できるような指定管理のあり方を調査検討したい。

ふるさと納税の促進を

佐藤 返礼品の充実や決済方法の拡充など積極的な取り組みを。26年度は100万円ほどの寄付があつたが、全国的には同規模でも1億円以上の寄付のある自治体が多数ある。

町長 町では5千円以上のふるさと納税に対し米5kgを提供しているが、全国的にはクレジット決済を導入するとともに返礼品のラインアップを拡充し、インターネットでの寄付申込みが普通になってきている。町でも特産品開発を促進し納税の確保に努めたい。



他町のふるさと納税パンフレット

行政改革は進んでいるか



新ホームページ

佐藤 職員提案制度の実績は。静岡県のひとり1改革運動を参考に業務改善を。

町長 平成19年度以降の提案はない状況であり、ひとり1改革運動は優良政策として評価しており手法を学びたい。

佐藤 若手職員に島根県邑南町を参考にした地域のことを学ぶ研修の機会が必要だ。

町長 若手職員が住民と連携し、まちおこしの提言を考える研修は有意義な機会であり、まちおこし事業へ積極的に参画させたい。

佐藤 職員が専門研修を受講しやすい職場環境づくりを。

町長 課内職員による連携や業務の日程調整などを行い、受講体制を整えたい。

佐藤 新ホームページの各課での内容刷新はいつか。

町長 27年度内に各課で内容更新を行う。

佐藤 東京都大田区の産業経済部では、ものづくり企業が農業分野に役立つ技術を開発することを目指す農工連携を行っているっており、連携してキイチゴや特産品の増収などを目指していくべきだ。

町長 今後大田区からの情報を得て、可能かどうか情報共有をしていきたい。

その他に

- 集落支援員の増員
- 包括的連携協定
- 公共施設利用状況調査
- 職員のワークライフバランス
- 道路の管理体制
- 学校ICT整備・導入計画
- 五城目高校との連携

質問しました。

あなたにかわって
聞きました

一般質問

地域活性化支援センターの 町に対するメリットは

町長

入居企業それぞれが地域活性化に つながる事業に取り組んでいる



石井 光雅
(青雲会)

石井 地域活性化支援センターに入居している事業者は6企業・1個人と聞いている。その起業内容・町に対するメリット・今後の入居予定を問う。

町長 (株)秋田モールドは車などのプラスチック部品を作るための金型加工。(合)大町ギルドはアニメキャラクターなどを活用した商品開発を検討中。ハバタク(株)はシェアビレッジの運営・新たな起業者を創出するプログラムの提供。(株)プロデュースプロは秋田市のイヤタカグループとしてブライダル関連の企画・デザイン。(株)ブレZZは自転車を活用した旅行の企画・運営。(株)ラウンドテーブルは企業向けの研修業務・人材育成コンサルタント業務。

町に対するメリットは、入居企業それぞれ、地域活性化につながる事業に取り組んでいる。ハバタク(株)は古民家改修プロジェクト「シェアビレ



地域活性化支援センター

「ジ町村」を活用し全国に情報発信。(株)ブレZZは台湾から客を招きシェアビレッジと連携したサイクリンググッズを実施。(株)プロデュースプロは町の農産物や菓子のパッケージデザインのリニューアルや、販売促進の支援。その他の入居企業も、本業だけでなく地域活性化に努めている。

今後の入居予定については数件相談を頂いているが、今のところ具体的な話はない。

大槌町への復興支援 米はいつまで

石井 町の老人クラブの方々が旅行中震災に合い、大槌町のホテルの皆さんに助けていただいた縁で、大槌町との間でいような交流がおこなわれ

ている。復興支援米もその一つである。

大槌町は今年8月全事業の見直しを訴えた平野公三氏が新町長になった。震災から5年、新町長の誕生。これを機に町費による復興支援米の配付を最後にしてはどうか。今年はずでに実施したのか。

町長 仮設住宅に現在も85%の人が入居中であり、まだまだ復興が完了したといえる状況には程遠いことから、今後支援米の配布を継続していく。今年11月14日、15日の2日間に渡り、町職員5名、町民5名の10名で、復興支援米を配布した。

子どもの貧困 町の実態は

石井 日本の子どもの貧困率は16・3%、子どもの6人に1人が貧困、実数換算すると約328万人。ひとり親家庭に限ると54・6%と、先進国でも最悪の水準に達する。中でも深刻なのは母子世帯である。本町の実態とそれに対する支援策は。

教育長 子どもの貧困についての実態調査は実施していない。要保護および進要保護児童生徒について学用品費、通学用品

費、学校給食費、校外活動費、修学旅行費、医療費など就学に必要な経費の一部を助成し、義務教育の円滑な実施につとめている。

旧消防庁舎解体 跡地をどうする

石井 空き家となった旧消防庁舎は非行、事件、事故につながる恐れもあることから一刻も早く解体すべきだ。解体後の跡地について町の考えは。

町長 旧消防庁舎は平成25年度に実施した耐力度調査の結果、耐力度があることが確認されており、民間における活用を検討している。民間の活用がない場合には施設を解体し、更地にしてから売却に供する。



どうなる旧消防庁舎

あなたにかわって
聞きました

一般質問

「生涯学習振興計画」の策定を

教育長 今年度内に策定し開示する



佐々木仁茂
(21期会)

佐々木 平成18年の教育基本法の改正により、新たに生涯学習の理念が新設された。この理念に基づいて、住民の生活を高め、地域と文化を豊かなものにしていくために、様々な学習要求や活動の推進に取り組みなくてはならない。

町民一人ひとりが生涯を通して、学び続けることができよう、本町の特性を生かし、町民による「地域づくり」「人づくり」を推進するために「生涯学習振興計画」を策定すべきである。

教育長 町では現在、生涯学習の理念に基づいて「生涯学習振興計画」の策定に向け鋭意努めている。今年度内に教育委員会定例会に計画（案）を諮り、承認後に開示する。

森林資源を生かした町づくりを

佐々木 本町の豊富な森林資源の潜在力を生かし、新たな需要開拓と森林・林業の成長産業化を図り、今後の町づくりに生かすべきだ。

北海道下川町の木質バイオマスボイラーによる、地域熱供給システムに学び、森林資源をエネルギー自給に有効に生かした「バイオマスタウンのまちづくり構想」に取り組んではどうか。

町長 「バイオマス構想」は、再生可能エネルギーと循環型森林経営を基盤とした森林バイオマスの取り組み推進による地域の活性化、二酸化炭素



公共施設の利用率アップを



有効活用したい森林資源

TPP発効で本町の農業は

佐々木 本町では、零細農家が多く高齢化も進みTPPが発効されれば、町の農業は深刻な状況に陥ると思われる。農家の不安を解消するために、今後どのような対策が必要なのか。

町長 今後の対策については、TPP関連政策大綱にも示している、生産コストの削減や収益性向上への意欲を向上させる対策が必要である。

今後、国、県の動向を注視し、町でできる支援策について検討していく。

化ができたこと。

また行政サービスの提供を維持しながら、行政コストの抑制に努めることができたことである。

デメリットとしては、受けて側の指定管理者が、長期的な視野に立っての運営をすることが出来ない点である。

その他に
○日本型直接支払制度について
質問しました。

指定管理者制度移行10年の評価を問う

佐々木 指定管理者制度の導入とこれまでの実績について、10年の経過を振り返り、どのような評価をしているのか。

町長 この制度導入でのメリットとしては、平成17年度に策定した自立計画に基づく職員定数を削減しながら、民間活力の利用で組織として簡素

一般質問

過去10年で「いじめ」は何件あったのか

教育長 1件あった



齋藤 晋
(21期会)

省より「昨年度の小中学校におけるいじめ状況」の調査があった。結果1件が確認された。しかし、昨年2月に調査したものを再調査したもので、いじめとして軽微なもの、または、小さなものでも提

齋藤 いじめ防止対策推進法では、「いじめに当たるか当たらないかの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うこと」となっている。過去10年間で町の小中学校でいじめは何件あったか。

教育長 今年8月に文部科学省より「昨年度の小中学校におけるいじめ状況」の調査があった。結果1件が確認された。しかし、昨年2月に調査したものを再調査したもので、いじめとして軽微なもの、または、小さなものでも提出を求めたものである。



いじめ防止対策推進法



冬の朝市風景

朝市を曜日開催にするのか

齋藤 朝市は0・2・5・7で開催しているが、曜日開催に変更するのか。

町長 朝市出店者・下夕町に面した家主・近隣住民などの合意形成があつて初めて変更できるもので、現時点では検討事案には含まれていない。

齋藤 生活朝市と観光朝市、どちらを重点に振興策を進めるのか。

町長 あくまでも基本は生活朝市である。

臨時日曜朝市を試行したことで定期朝市にない販売品目と若い世代の出店者及び来店者を得ることが出来た。来年度は定期朝市への融合を前提に0・2・5・7の付く日曜日に臨時日曜朝市を試行的に開催することを検討している。

その他に

○町・教育委員会が「いじめ」とする定義は

○日曜朝市の集客状況は・出店者の状況は

○朝市出店者を増やす為の町の考えは

○朝市の特産品の開発が必要である。町の考えは

○今年除雪を実施するための、町長の意気込みを伺いたい

○議会にタブレットが導入されるが、議会資料の配布を早目に出来ないか

質問しました。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



館岡 隆
(自民クラブ)

未解決の課題

(旧大川小・五小)
し尿処理・基盤整備事業)

町長 課題解決に頑張る

館岡 旧大川小を「道の駅」「直売所」「居場所」など多機能の施設にすべきである。

教育長 総務省の事業に登録し募集している。28年度も続ける。

館岡 五城目小学校の改築は、五一中と併設し共用できる部分は共用し連携すればメリッ
トがある。

町長 28年度から32年度まで計画期間とし最優先で取り組む。スピードアップで検討する。
館岡 し尿処理場は以前から老朽化が激しく当局も何度も

改築の意志を示してきたが動きが見えない。井川八郎潟町との広域はあるのか。

町長 県は県内6ブロックに分割して処理する考えであり、その計画に併せて秋田市への搬入、広域の処理方式との統合も検討する。

館岡 高崎地域の基盤整備事業の進捗状況は。

町長 11月21日事業採択までの説明会を実施し、法人を立ち上げて農地の集積か、担い手の集積か協議した。事業採択に向けて進んでいる。

今後の人口動向

館岡 当局は10年以内に人口1万人を切ると推計してきたが今回の国勢調査での結果はまだ公表されていないが各種計画の大幅な見直しが必要となるのでは。

町長 人口は年2%の減少を見込んで様々な施策で歯止めをかけ発展計画の見直しは28年度行なう。地方創生総合戦略の具体事業に合わせて検討する。

土着ベンチャーのコンテスト 最優秀プランの活用

館岡 土着ベンチャーのコンテスト・最優秀プランの活用を。

町長 現時点で活用できるか答弁できないが、町にとつて地域資源を活用するローカルベンチャーの育成集積を図るうえで有効である。チームの改善のための支援を積極的にする、移住と起業を合わせて支援する。

産業振興と特産品開発

館岡 地場の農業に特化した、徹底した対策をすべき。

町長 県の制度を活用し特産品開発などを支援する。圃場整備事業を推進し経営の安定を図る。林道整備による高効率生産団地路網を整備し活性化を図る。

少子化対策 (移住定住対策)

館岡 保育料の全額助成、子育て世帯に対する住宅支援、多子世帯に新たな奨学金制度の創設、全国にない徹底した対策。町単独の東京事務所を設置し大胆な施策を徹底して。
町長 現状の財政状況では厳しいが保育料相当分を商品券で交付している自治体もあり、大胆な施策を検討する。



コンテストで最優秀賞

あなたにかわって
聞きました

一般質問

長寿社会を目指して 「肺炎球菌ワクチン接種」を

町長 任意接種への助成は考えていない



畑澤 洋子
(公明党)

畑澤 肺炎は国の死因3位である。昨年からは定期接種になった高齢者肺炎球菌ワクチン接種で、肺炎になっても重症化しないで済む。接種対象者が必ず接種できるように、周知徹底に工夫が必要だ。健康寿命を延ばし、医療費の削減にもつながる。対象時期を逃した人や、対象時期まで待てない人に、任意接種の助成制度を構築すべきだ。

町長 平成26年度の肺炎による死亡者数は16人。全死亡者数の9・5%を占める。接種対象者897人のうち440人が接種した。本人に通知し、広報に掲載し、巡回健康相談時に保健師が接種を勧めている。定期接種対象外の任意接種に助成は考えていない。

し尿処理施設は広域化で

畑澤 クリーンセンターは築27年。処理量が半分以下になった現在も経費が5,000万円かかっている。ピーク時苑と協議するなど対応するべきだ。なぜ一町単独の建設にこだわるのか。早期に3町協議を開始してはどうか。

町長 将来を見据え総合的に判断した。県から示された「2040年における県内のし尿処理施設の望ましい姿」を受けて、秋田市・潟上市・男鹿市・南秋田郡の処理施設の広域化を検討する。



八郎潟町・井川町共同クリーンセンター（湖水苑）

農福連携で 雇用の拡大を

畑澤 農林水産省・厚生労働省が進める農福連携で雇用の場を作るため、町主導で6次産業化を進めてはどうか。

町長 栽培から加工、販売まで行政が行うことは困難である。6次産業化を目指す運営母体に支援したい。障害者の雇用、生活困窮者対策は町直営では困難であり、農福連携プロジェクトについては、情報収集をすすめている。



議員研修報告

今後の農村の可能性を探る

【研修名】

町村議会議員特別セミナー

【研修先】

滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

国際文化研修所

【研修期間】

10月5日～6日

【主な講義テーマ】

「自然と共生するまちづくり」

【参加議員】

佐藤 慶彦

災害時の議会対応を学ぶ

【研修名】

市町村議会議員特別セミナー

「災害に強い地域づくり」

【研修先】

千葉県千葉市・市町村職員中央研修所

【研修期間】

10月27日

【主な講義テーマ】

「災害時の議会の役割」「東日本大震災被災地・南相馬市議会の経験とこれからの防災対策」

【参加議員】

齋藤 晋

人口減少社会を考える

【研修名】

トップマネジメントセミナー

「人口減少に対応した行政運営」

【研修先】

滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

【研修期間】

11月12日～13日

【主な講義テーマ】

「人口減少社会における行政運営」「邑南町の挑戦、日本一の子育て村を目指して」

「人口減少社会に立ち向かう地域経営を考える」

【参加議員】

佐藤 慶彦

これからの地方のありかた

【研修名】

第2回市町村議会議員特別セミナー

【研修先】

滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

【研修期間】

11月19日～20日

【主な講義テーマ】

「仙台市の都市経営について」「地方議会改革の実績と課題」「地域に根付いた商業施設の今後のあり方」「地方から変える日本の未来」

【参加議員】

佐藤 慶彦

地域経済の構造を学ぶ

【研修名】

公共政策技法研修「市町村の経済構造と経済波及効果の分析」

「地域経済構造分析と経済波及効果」

【研修先】

滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

国際文化研修所

【研修期間】

11月24日～26日

【主な講義テーマ】

「地域経済構造分析と経済波及効果」「地域経済構造分析を用いた経済成長戦略」「産業連関表を読む・使う・作る」「地域経済構造分析と産業連関分析の政策への活用」

【参加議員】

佐藤 慶彦



エクセルを用いた産業連関分析

白神山地を視察



五城目町森林・林業・林産業活性化推進議員連盟（林活）は11月9日（土）秋田県林業育成協会会長武田英文氏の案内により、白神山地（藤里町）内にある岳岱自然観察教育林を視察した。

広大なブナ林に遊歩道が整備されており、豊富な湧き水に舌つづみを打った。



白神のブナ林

その後「林道整備で林業再生を」と題する武田氏の講演を拝聴した。秋田県は民有林におけるスギ人工林の面積、蓄積は全国一であるが、年間スギ素材生産量は80万立方メートルで宮崎県の138万立方メートルに大きく水をあけられてい

る。その原因は林内路網の整備が遅れているからであり、今後素材生産を増やすためには林道の整備が急務である。帰りは日本一高い杉のある仁鮎を見学し視察研修を終えた。

参加議員

齋藤 晋 石井 光雅
畑澤 洋子 荒川 達雄
佐藤 重信 館岡 隆
工藤 卓美 佐藤 成孝
澤田 石亀雄



武田氏の講演

（石井 光雅）

請願

陳情

請願

採択
 ◆ TPP 交渉に関する
 請願

秋田市中通6丁目7-36
 農民運動秋田県連合会
 委員長 鈴木万亀夫
 (紹介議員 石川 交三)

採 択
 ◆「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」の意見を求める陳情書

秋田市中通6丁目2-1
 秋田県医療労働組合連合会
 執行委員長 泉谷みどり

陳情

採 択
 ◆必要な医療・介護がうけられ、安心して暮らせる年金制度など「社会保障の充実を国に求める」意見書提出の陳情書

秋田市中通6丁目2-1
 秋田県社会保障推進協議会
 会長 渡辺 淳

採択
 ◆学校薬剤師の報酬改善についての陳情書

秋田市千秋久保田町6番6号
 一般社団法人秋田県薬剤師会
 会長 大越 英雄

不採択
 ◆外国人の扶養控除制度の見直しを求める陳情書の採択を求める陳情

福岡県行橋市今井3713-1
 小坪 慎也

意見書送付

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

必要な医療・介護が受けられ、安心して暮らせる年金制度など「社会保障の充実を国に求める」意見書

提案理由

必要な医療・介護が受けられるように医療機関や介護・福祉施設を確保し、すべての人に安全・安心の医療・介護を保証することや、安心して暮らせる最低保証年金を創設するなど、社会保障の充実を求める。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
 厚生労働大臣 塩崎 恭久

「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書

提案理由

介護従事者の人材確保を図り、人材確保・離職防止の実質的な対策、及び安全・安心の介護保障を実現していくために、介護従事者の処遇改善や人員配置基準の引き上げ、夜間配置を改善することを求める。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
 厚生労働大臣 塩崎 恭久
 財務大臣 麻生 太郎
 秋田県知事 佐竹 敬久

TPP 交渉に関する意見書

提案理由

TPP「大筋合意」の詳細と協定本文を速やかに開示し、国会・国民の議論を保障すること、国会決議に違反する「合意」は撤回し、協定への調印・批准は行わないことを求める。

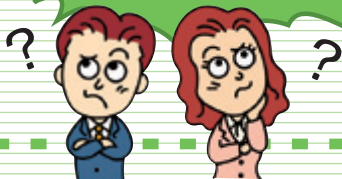
提出先

衆議院議長 大島 理森
 参議院議長 山崎 正昭

(伊藤 正春)



あれ



なんとになったべが!

平成26年12月定例会一般質問より

問

大川小学校の今後は。



旧大川小学校をどうする

答

検討委員会で検討していきたい。

現在

創造的な仕事に携わる人達のアイデアを活用して公共施設の有効活用を図るため、総務省で実施している既存建物を改装して用途変更などを行い、新しい価値を見出すオープン・リノベーション事業に登録し募集を行っている。

問

もりやまこども園に労働基準監督署から指導・勧告があったと聞く。

答

時間外勤務に対する指摘を受けたもので、重く受け止めている。

現在

職員の勤務体制の改善など、適正な労働時間の管理運営に努めている。



もりやまこども園

問

町のホームページに「心の体温計」を。

答

平日労働している若年層の、心の健康づくりの相談や受診に役立つと思われる。

現在

8月から町のホームページに開設しており、パソコンや携帯電話から利用できるようになっていた。

問

空き家対策で補助制度や空き家バンクを。

答

関係職員で「空き家対策プロジェクトチーム」を設置し、総合的対策を検討している。空き家バンクは保有状況を周知するのに有効な手段であり、補助制度も含め検討していきたい。

現在

空き家の斡旋は現在「地域おこし協力隊」が移住希望者と直接協議することを基本としており、空き家バンクへの登録は考えていない。補助制度はリフォームローンの利子補給を今年度に制度化した。

問

コメ概算金下落への支援策はなにか。

答

県は無利子融資で緊急対策資金を創設したが、借入者は保証料として保証残高につき0.5%負担があり、その部分を町が支援する。

現在

稲作経営安定緊急対策資金を借入した農業者は19名。償還期間は平成27年から3年以内である。町が支援する保証料は、借入者の保証残高に応じて金融機関に支払いしている。



富田千寿会 (富田)

会長 高橋 作雄さん



で3kg入500袋を集めて5万円の収入になります。

月ごという会ですか。

高橋 「富田老人クラブ千寿会」を「富田千寿会」に変更し、会員を募集。現在63歳から91歳まで50名が加入しております。

月どんな事をしていきますか。

高橋 月一回血圧測定。第2第4水曜日にサロンを開催。講師を招いて健康やオレオレ詐欺などの勉強をしています。花壇作りは全県特別優秀賞、全町優秀賞を受賞しました。町内清掃や草取り、集会所の管理もやっています。

月会費や運営費はどうなっていますか。

高橋 年会費1,000円の他に、アルミ缶リサイクル

月今後の課題はありますか。

高橋 会員を増やして、町内の団結と連携を深め健康寿命をのばしたいです。

月町政や議会に、「ご意見やご要望はありますか。」

高橋 冬の除雪が大変です。道路は狭く捨てる場所が少ない。除雪機はあるものの使える人が限られています。町の福祉バスがほしいです。他の町村では持っているし、視察研修旅行など、行き場所が限られ、費用も高額です。乗り合いタクシーは、時間に不都合です。車の運転が出来なくなると、生活が大変になります。

(取材：畑澤洋子)

がんばってます



五城目高校2年
ふたかた かづき
二方 花月さん
(紀久栄町)

私が真摯に取り組んでいることは、五城目ソーシャルラボでの活動です。この活動は東大の先生方と一緒に五城目高校の生徒が五城目町について研究をするというものです。

初めてのことで慣れないところもありますが、チームで協力し意見を出し合い共有し、日々新しい発見をしています。私がこの研究を通して感じたことは「昔の人の言葉や記録、残してくれたものが今の私たちの活動の力になっている」ということです。この研究においては過去を知ることが重要です。郷土史や文集な

どを読み、昔の五城目町の様子が断片的ではありますが少しずつ分かってきました。得た情報をみんなで共有し、まとめることで新たなデータが生まれます。昔の人が言葉や記録を残してくれたおかげで私たちの活動ができるように、私たちの活動により、後世に五城目町の歴史を伝えることができると思っています。

私は生徒会長として生徒会での活動にも携わっています。今回この研究で学んだことを活かして、地域に貢献できるような活動をしていきたいと思っています。私たち若い世代が動き、五城目高校から新たなことを発信し、町を盛り上げることができるよう、様々なことにチャレンジしたいと思っています。(取材：佐藤慶彦)

編集

後記



スーパージェルニーニョ現象による暖冬の中で新年を迎えた。除雪の苦勞を免れて町民の皆様にも笑顔が見える。

どこかに「このままでは済まないだろう」という思いがあり、油断はできない。

世界では温暖化をくい止める会議があったが、すぐに解決できる問題ではない。地球規模の取り組みが必要だ。私達一人一人も考えていかなければいけない。

まもなく地方版総合戦略が完成する。町ににぎわいを創出し、大成功となるか、しっかり見極めたい。

この一年も無事故、無火災で町が守られ、町民の皆様がご健康でありますように。

畑澤 洋子 記